
僕の神様

tapesuto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の神様

【コード】

N0360H

【作者名】

tapresuto

【あらすじ】

ある歌をちよびつと変えて作りました。つまらんですが、よろしく願います。

僕は神に恋をした。

人の神様だった。人がなつた神様ではなく、人のための神様。

笑わなかった、感情を表に出さない神様だった。

一緒に暮らした、なんとなく寂しそうだったから。

僕は、嫌な人だった。

嘘を言った数と、本当のことを言った数、どっちが多いかなんて解らなかった。

自分の中の嫌いなところと、自分の中の好きなところ、どっちが多いかももう解ってて悲しくなった。

飼っていたペットが死んだ。

彼女は、泣いた。

いつもの、無表情で。

ただ、涙を流した。

そんな彼女があまりにも綺麗に泣くから、僕は思わず横で笑ったよ。

すると彼女がつられて笑ったよ。

すごく綺麗な笑い顔。そんな彼女があまりにもうれしくて、僕はただただ、泣いた。

彼女がいなくなった。

いつの間にか、忽然と姿を消した。

誰も端っこで泣かないように、君は地球を丸くしたんだろう？

だから君に会えないと僕は、隅っこ探して泣く。

誰も命を無駄にしないようにと、君は命に終わりを作ったよ、

だから君が居ないその時は、僕は息を止めて待つよ。

明日を呪う人間不信者は、明日を夢見る人間信者に。

2秒前までの自殺志願者を、君は永久幸福論者に、

変えてくれた君はもう、居ない。

だけど、この僕の心に、心臓に、君はいたよ。

全身に向けて脈を打つんだよ。

今日も生きて、明日も生きて、そして、そのままずっと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0360h/>

僕の神様

2010年10月10日05時15分発行